

作業船特集号

目次

技術の共同研究について……………上野省二 1

港灣工事用作業船の近代化について……………月邨徳彌 2

硬土盤浚渫作業船の傾向……………三宅淳達 4

低位型自航バケット船について……………月邨徳彌, 龜卦川毅一 6

ディーゼルエレクトリックディッパー式  
 浚渫船について……………米納津一郎, 芳野重正 11

新造 500 馬力ポンプ浚渫船の窓を通して……………橋 義 正 17

砕岩船による水中砕岩工事について……………石 丸 聰 20

実務者のための浚渫ポンプの理論及び  
 能率的な使用法……………長谷川源太郎, 八木得次 25

サンドポンプ送泥管用  
 含泥量測定装置について……………近藤正夫, 波多野英二 31

ポンプ式浚渫船用伸縮式スマッドについて……………保 井 一 郎 35

簡易浚渫法数例……………河 野 正 吉 39

行 事 一 覧……………41

編 集 後 記……………41

◆表紙写真説明◆

久保田建機株式会社製 30 噸 起重機船

(運輸省第二港湾建設局納入)

本船は鋼製箱型非航 360° 旋回式起重機船であって、主捲及びジブ俯仰はディーゼル機関によりトルクコンバータを介して直接運転され、又旋回並びに補助捲はディーゼル発電機による電動とする。

船体寸法(米) 210×130×2.5—吃水約 1.2

起重機部	主 捲 揚	補 助 捲 揚
常用荷重(噸)	30.0	7.5
試験荷重(噸)	36.0	9.0
旋回最大半径(米)	6.5 (舷外より)	12.0 (舷側より)
水面フック中心迄高さ(米)	10.0	12.0
総 揚 程(米)	20.0	22.0
吊揚時最大船体傾斜(度)	4.5	—
捲揚速度(米/分)	5.0	10.0
旋回速度(度/分)	180°	
俯仰速度(分)	3.0	

原 動 機 部

発電用原動機	ディーゼル機	1台	125 B.H.P.
主捲用原動機	ディーゼル機	8.5	B.H.P.(トルクコンバータ付)